

事前に下記全ての項目にご記入の上、名刺1枚を添えて会場受付にご提出ください。
引き換えに来場者証をお渡しします。

A.あなたの業種は？

☐01 農林、水産

☐02 鉱業

☐03 建設

☐04 食料品

☐05 繊維

☐06 紙、パルプ

☐07 化学、ゴム

☐08 医薬

☐09 石油、石炭

☐10 ガラス・土石

☐11 鉄鋼

☐12 非鉄金属

☐13 金属製品

☐14 機械

☐15 電気機器

☐16 輸送用機器（自動車含む）

☐17 精密機器

☐18 電気、ガス

☐19 運輸、倉庫

☐20 情報、通信

☐21 卸売

☐22 商社

☐23 小売

☐24 銀行

☐25 証券

☐26 保険

☐27 その他金融

☐28 不動産

☐29 サービス

☐30 官公庁、団体

☐31 教育

B.あなたの職種は？

☐41 研究開発

☐42 総務

☐43 人事

☐44 経理

☐45 情報処理、システム

☐46 経営企画

☐47 広報、宣伝

☐48 営業、サービス

☐49 設計

☐50 生産、品質管理

☐51 教職員

☐52 学生

C.あなたの役職は？

☐61 会長、社長

☐62 役員

☐63 部長、次長クラス

☐64 課長クラス

☐65 係長、主任クラス

☐66 専門職

☐67 一般社員

D.従業員数

☐71 10人以下

☐72 30人以下

☐73 50人以下

☐74 100人以下

☐75 300人以下

☐76 500人以下

☐77 1000人以下

E.見学したい展示会

☐91 INTERMEASURE

☐92 JIMA

☐93 センサエキスポジャパン

☐95 地盤技術フォーラム

F.本展を知ったのは？

☐101 招待状

☐102 ポスター

☐103 新聞・雑誌

☐104 インターネット

☐105 メール

☐106 その他

()

G.ご来場の目的は？

(複数回答可)

☐111 機器購入・商談

☐112 予算確保の資料入手

☐113 最新の情報入手

☐114 併催行事（シンポジウム、セミナー等）が行われているから

☐115 その他

()

☐191 次回の出展案内を希望する

登録を正確にするために**お名刺の添付**をお願いします。
名刺をお持ちでない場合は楷書でご記入ください。

会社・団体名

所属・役職

住所 〒

氏名

Tel. Fax.

E-mail

名刺貼付

●会場内でのカメラ・ビデオカメラなどによる撮影、ビラ・チラシ等の配布、出展社への妨害および来場者への迷惑行為は固くお断りします。

<主催者としての個人情報のお取り扱いについて>

- ①ご登録いただいた個人情報は本展の運営管理、実施、次回開催等のご案内および主催者の関連行事案内等のために使用いたします。
- ②個人情報の漏洩、滅失、改ざん等を防止する処置を講じます。
- ③主催者は、業務委託先が適切に個人情報を取り扱うよう指導いたします。

東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明 3-10-1

www.bigsight.jp

●りんかい線

新木場駅(JR京葉線、東京メトロ有楽町線) → 約5分 → 国際展示場駅[下車徒歩約7分]

大崎駅(JR) → 約13分 → 国際展示場駅[下車徒歩約7分]

●ゆりかもめ

新橋駅(JR、都営地下鉄浅草線、東京メトロ銀座線) → 約22分 → 国際展示場正門駅[下車徒歩約3分]

豊洲駅(東京メトロ有楽町線) → 約8分 → 国際展示場正門駅[下車徒歩約3分]

●バス

(都営バス) 東16 東京駅八重洲口(東16系統、豊洲駅前経由) → 約40分 → 東京ビッグサイト

都05 東京駅丸の内南口(都05系統、勝どき駅前経由) → 約40分 → 東京ビッグサイト

門19 門前仲町駅(門19系統、豊洲駅前経由) → 約30分 → 東京ビッグサイト

●空港バス (リムジンバス・京急バス)

羽田空港 → 約25分 → 東京ビッグサイト

成田空港 → 約60分 → 東京ベイ有明ワシントンホテル[下車徒歩3分]

●水上バス

日の出桟橋(JR浜松町駅下車徒歩約7分) → 約25分 → 東京ビッグサイト

●首都高速道路

台場・有明・臨海副都心・豊洲出口から5分



海洋技術、海洋ビジネスに関する専門展示会

SUBSEA TECH JAPAN 2018

第3回 海洋産業技術展

9月26日(水)～28日(金) 10:00～17:00
東京ビッグサイト 東5ホール

入場無料

主催 フジサンケイ ビジネスアイ 営業・事業本部 「SUBSEA TECH JAPAN」事務局

〒100-8125 東京都千代田区大手町1-7-2
TEL. 03-3273-6180 FAX. 03-3241-4999 E-mail. subsea@sankei.co.jp

特別協賛 一般社団法人次世代センサ協議会 海洋計測センサ技術研究会

後援 国土交通省、(国研) 海洋研究開発機構、(国研) 海上・港湾・航空技術研究所、海上技術安全研究所、(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構、(公財) 日仏海洋学会、(公社) 日本マリンエンジニアリング学会、(公社) 日本船舶海洋工学会、(特非) 海洋音響学会、(一財) エンジニアリング協会、(一社) 海洋産業研究会、(一社) 日本計量機器工業連合会、(一社) 日本船用工業会、(一社) 日本プロジェクト産業協議会、(一社) 海洋エネルギー資源利用推進機構、(一社) 海洋調査協会、海洋調査技術学会、スコットランド国際開発庁、日本海洋学会、海洋理工学会

同時開催展

計量計測展

計量計測業界、最大規模。世界の最先端技術が一堂に集まる総合展示会
主催：(一社) 日本計量機器工業連合会

総合検査機器展

非破壊検査関連の機器・材料・技術・情報が一堂に集まる専門展示会
主催：(一社) 日本検査機器工業会

センサエキスポジャパン 2018

センサとその応用技術、機器、システム、ネットワークに関する専門展示会
主催：フジサンケイ ビジネスアイ
特別協賛：(一社) 次世代センサ協議会

地盤技術フォーラム 2018

地盤技術にかかわる3つの展示会を一堂に開催！

土壌・地下水浄化技術展 主催：(一社) 土壌環境センター、フジサンケイ ビジネスアイ

地盤改良技術展 主催：フジサンケイ ビジネスアイ

基礎工技術展 主催：フジサンケイ ビジネスアイ
共催：月刊「基礎工」(株) 総合土木研究所、パイルフォーラム(株)

www.subsea-tech.jp

出展者のみどころ (7月17日現在)

株式会社 IHI

AUVを用いた海中／海底のソリューションを御提案いたします。

岡山大学
(株式会社ハイドロヴィーナス)

振り子の流力振動で潮流発電や電動船の回生ブレーキを実現する革新技術を紹介。

OKI

水中音響センシング技術を活かした海域進入監視／海洋観測を中心に展示。

九州職業能力開発大学校

2年+2年のステップアップ方式により、実践的な技術者の育成を行っています。

コスモス商事株式会社

BoxFish (NZ) 製 ROV 及び水中360度カメラを展示。

一般社団法人次世代センサ協議会
海洋計測センサ技術研究会

海洋産業の発展に寄与するため、海洋センサの現状調査とその課題や将来への施策の提言を行うための活動。

シバタ工業株式会社

これまでにない機能性、汎用性を備えたオリジナルの防舷材製品を展示。

株式会社 昌新

深度計など海中センサのデモンストレーションを実施します。

水中ドローン社 (株式会社 SIX VOICE)

日本の水中ドローンメーカー。水中ドローン・水中GPS・水中音響通信装置を提案。

株式会社ソルトン

光ロータリジョイント、コネクタや水中ソナー等海洋産業の接続に関する製品を展示。

株式会社東陽テクニカ
／NORTEK ジャパン

ドップラー水中測位装置、各種最新ソナー計測機器の紹介。

バンドウイットコーポレーション

サブシー関連の業界で信頼性高いステンレスバンドを中心に、新製品チタンバンドも紹介。

長崎海洋産業クラスター形成推進協議会
／長崎大学海洋未来イノベーション機構 / 長崎県

長崎の海洋エネルギー産業クラスター形成を目指す、産学官連携の取組を紹介。

株式会社 FullDepth

潜行深度300m、手軽に使える自社開発の国産小型・軽量 ROV の実機と最新事例をご紹介します。

マリメックス・ジャパン株式会社

英国 SAAB SEAEYE 社製 ROV "FALCON" を展示。

三菱電機株式会社
／三菱電機特機システム株式会社

海水アンテナ、海中音響・レーザ通信、津波監視レーダを動態デモも交え体感頂きます。

※出展者の詳細情報や、出展製品のご案内等の最新情報は、Web サイトに公開しております。



併催セミナー 聴講無料

主催: フジサンケイビジネスアイ
(一社) 次世代センサ協議会 海洋計測センサ技術研究会
申込方法: ホームページよりお申し込みください。▶▶▶ www.subsea-tech.jp

9月26日 (水)

26-ST1 「大学などでの海洋研究状況 (海中ロボット技術)」
会場: 東5ホール特設会場 D 80席

自律型海中ロボット (AUV) の開発
東京大学 生産技術研究所 准教授 巻俊宏氏

ROV とインテリジェント養殖システムの開発
長崎大学 海洋未来イノベーション機構 教授 山本 郁夫氏

水中ハンドリング・接触作業を実現する
小型水中ロボットの開発とフィールド実験
東海大学 海洋学部 航海工学科 海洋機械工学専攻 准教授 坂上 憲光氏

次世代海中ロボットの研究開発及び人材育成
九州職業能力開発大学 生産電子情報システム技術科 教授 岡田 正之氏

9月27日 (木)

27-ST1 特別講演「海洋産業拡大に向けた内外の動き」
会場: 会議棟6階 609会議室 100席

第3期海洋基本計画に基づく日本の海洋政策の現状と今後
内閣府総合海洋政策推進事務局 (調整中)

海中観測技術の社会実装への取り組み
国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋工学センター センター長 川口 勝義氏

海外の海洋産業
①スコットランドの石油ガス産業と技術ニーズ
スコットランド国際開発庁 ICT & ファイナンスサービス担当 シニア・エグゼクティブ 松枝 晃氏

②ノルウェーの海洋産業 (サブシー、養殖、自動化船)
NAVIKA Consulting 代表 並川 俊一郎氏

ノルウェーの海洋産業 (海洋計測センサ)
NORTEK ジャパン テクニカルサポートマネージャー 園分 祐作氏

③海洋エネルギー産業クラスター形成を目指して
長崎大学 海洋未来イノベーション機構 機構長特別補佐 森田 孝明氏

27-ST2 特別講演「海洋産業への企業の展開」
会場: 会議棟6階 609会議室 100席

海洋再生エネルギー
洋上風力発電と水産業 (養殖) の共生が創出する
新たな海洋産業の可能性
長崎大学 海洋未来イノベーション機構 コーディネータ 織田 洋一氏

IHI における海洋産業に関する取り組みについて
(株) IHI 総合開発センター 部長 長屋 茂樹氏

14:00
} 16:40

海洋 IoT
安全かつ豊かな海を実現する海洋 IoT
沖電気工業 (株) 情報通信事業本部 IoT アプリケーション推進部 部門長 藤原 雄彦氏

海洋土木
水中土木施工のロボット化の取り組み
五洋建設 (株) 技術研究所 担当部長 杉本 英樹氏

海洋環境・北極海
解凍された海、北極海
元国立研究開発法人海洋研究開発機構 監事 滝沢 隆俊氏

9月28日 (金)

28-S1 「海洋ベンチャー企業の取り組み」
会場: 東5ホール特設会場 D 80席

潜水調査船しんかい6500のパイロット
国立研究開発法人海洋研究開発機構 広報部 田代 省三氏

無人艇の制御技術と AI 活用
(株) イームズラボ 最高技術顧問 伊豆 智幸氏

振り子の流力振動を用いた革新的潮流・海流発電
(株) ハイドロヴィーナス 代表取締役 / 岡山大学 准教授 比江島 慎二氏

海洋でのアバダー・サイボーグ技術の応用
(株) メルティン MMI 代表取締役 粕谷 昌宏氏

お茶の間から深海へ ～FullDepthの取り組み～
(株) FullDepth 代表取締役社長 伊藤 昌平氏

※テーマ・講師は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※最新の情報はホームページにてご確認ください。

製品・技術発表会 聴講無料

一出席企業によるプレゼンテーション

日時: 2018年9月26日 (水) 11:30～12:15
会場: 東5ホール特設会場 D 80席 (当日受付) ※直接会場へお越し下さい

超ローコスト水中音響通信装置の開発
水中ドローン社のチャレンジ
水中ドローン社 / (株) SIX VOICE 代表取締役 土生 修平氏

同時開催展示会合同企画 聴講無料

日時: 2018年9月26日 (水)
会場: レセプションホール A
申込方法: ホームページよりお申込ください。▶▶▶ www.jima-show.jp

基調講演 ① 11:00～12:00

講師 経済産業省 製造産業局

基調講演 ② 13:30～14:30

講師 ロボット革命イニシアティブ協議会 事務局 久保 智彰氏

「ロボット革命の進展とIoTによる製造ビジネスの変革」

2015年に設立されたロボット革命イニシアティブ協議会のこれまでの活動成果と今後の展望を紹介する。ロボットに関しては利活用推進およびイノベーション加速、IoTに関しては国際標準化、セキュリティ、中堅中小企業支援などを活動の対象としている。ドイツのインダストリー 4.0 をはじめとする各国の団体との連携状況についても紹介する。

